

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 令和4年4月14日
- 事業名 : 被災者の孤独・孤立防止と地域コミュニティ創生事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人ふくしま百年基金
- 実行団体 : 一般社団法人 Teco
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無 : 有 無

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
(1) お茶会やイベントを開催し、住民に交流の機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 (お茶会、マルシェ、移動販売) ・参加/利用者数 (お茶会、マルシェ、移動販売) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶会 各団地月1回、10団地×毎月=120回(可能な限り全16団地になるよう努める) ・マルシェまたは移動販売 年延べ12回 	2024/03/31	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ×移動販売=屋外イベント=1回 【あの日から11年目の福島の今】を開催 参加者(スタッフ込み)計270人 うち団地住民20人(宮沢/下神白) 震災時双葉郡に居た方30人 移動販売出店件数 5件 	3
(2)見守りとセットの配食を希望する人に対し、配食サービスを提供	延べ配食数	1,920回 80人×月2回×2年(特に支援が必要と感じる8団地、各10名を重点的に配食)	2024/03/31	<p>コロナ禍の拡大やまん延防止措置が継続中の為、配食や見守り体制を把握する為のアンケート調査も行うことが困難であった。</p> <p>4月の役員改選以降積極的に個別訪問を含めたアンケート調査から開始予定。</p>	3

<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難を抱えた人を福祉や専門機関へ繋ぐ ・ 社協等の情報共有会議を開催する 	<p>連携件数 情報共有会議開催数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 16 団地、各団地年 3 回×2 年=96 回 ・ 合同会議 延べ 2 回 ・ 支援実績 月 1 人×16 団地×2 年 	<p>2024/03/31</p>	<p>復興イベントの際に、市内の復興支援を行う以下の 5 件の団体と連携をはかることができた。 (NPO 法人ザ・ピープル/災害支援ネットワーク IWAKI/浜〇カフェ /オーガニックコットンプロジェクト/天空の里山) 大熊社協、NPO 法人みんぷく、勿来まちづくり市民会議等と情報共有や打合せを行い今後情報共有会議を開催したい旨を伝えたが、プライバシー保護の観点からも横の繋がりを築きにくいのが現状。新年度より更に打合せを重ね、いくつかの団地からモデルケース的に開催していく。</p>	<p>3</p>
<p>(4)キーパーソンになりうる方のエンパワーメントを引き出し、自主的に自治会活動やサークル活動を運営できるように促す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーパーソン候補者の洗い出し人数 ・ 若者が参加したイベントの延べ人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーパーソン候補者 3 人×10 団地=30 人 ・ 若者 延べ 100 人 	<p>2024/03/31</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点でのキーパーソン候補者 8 名 ・ 復興イベントにてボランティア参加者 22 名 そのうち、20 代の若者が 3 名いた。今後も継続して団地に関わってくれる予定。 (今回は都合が合わなかったが、東洋大学のボランティアグループと繋がることができた。) 	<p>2</p>

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

<p>1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み</p>
<p>2.概ね達成の見込み</p>
<p>2.アウトカムの状況</p>
<p>A：変更項目</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>変更なし <input type="checkbox"/>短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/>短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/>アウトカムの目標値</p>

3. 活動に関する報告

・コロナ禍により集会所等の活動が約2年間自粛されていた宮沢団地で、令和3年12月に忘年交流会の開催サポートを行った。他の団地に比べて比較的自治会が安定しており活発な団地ではあったものの、コロナ禍により全ての活動が大幅に縮小されていた(いきいき体操の時間短縮、お茶会の飲食中止等)。それでなくとも、震災から10年以上が経過し他団体の支援が希薄となり、入居者自身が高齢になり、不安で先の見えない生活を送っているように感じていた為。そんな中での忘年交流会は、団地に入居以前は全くの他人同士であった者同士が、今では家族のような心の支えのような存在になっているのだと皆が体感できるほどに豊かな時間であった。

・以前から繋がりがある団地以外に対して、どのようにアプローチしていけば良いのかは課題の1つであったが、地域で活発に活動する団地と繋がることで復興公営住宅とも関わる事ができるのではと、団地がある町の町づくりを行う団体(なこそ町づくり市民会議)と打合せを行った。当法人の活動状況や思いをお伝えした所、結果的に勿来酒井団地の事務局の方と繋がる事ができた。その後、その団地の事務局と自治会長と打合せを行う機会を設けた。団地内の現状と共に課題の共有を行い、4月以降高齢者や独居男性の方が集う機会を提供できたらと予定している。

・日常的なコロナ禍に合わせ、福島県まん延防止等重点措置が令和4年1月27日~2月20日まで発令された(また、公民館等の公共施設等は年度末まで使用停止)。そのことより、団地の敷地内での今年度中の交流会開催は困難と判断し、屋外での交流イベントを企画。短期間での準備ではあったが、団地住民の交流の場の創出と共に、関係機関との連携や、いわき市住民にも復興公営住宅の現状を周知する機会にすべく、【震災から11年目の福島の今】と題して、日頃から交流がある無農薬栽培の畑を会場とし、様々な角度から震災について考えるキッカケになる交流会を開催した。出演者や出店者も、福島復興を考え積極的に活動を行う方たちに依頼し、プログラムも団地住民に歌を披露していただき、団地住民から避難生活や現状を伝えていただく機会を設けて、来場した多くの方たち同士が繋がる機会となった。また、いわき民報新聞が取材に来ていただき、団地の現状と当法人の取り組みを広く発信していただいた。

・復興イベントを開催するにあたり、様々な関係機関やボランティア団体等に活動の情報共有とともに活動の協力を求めた。それにより、NPO法人ザ・ピープル(子ども向け古着ブース)/災害支援ネットワーク IWAKI(情報発信の協力)/浜〇カフェ(炊き出しブースや会場スタッフ)の共催で行う事ができた。また、学生や若者のボランティア団体にも広く案内を行った。年度末も重なり参加できない団体が多かったが、今後更に連携をはかり事業を進めていく予定である。また、初めて参加した若者のボランティアの方は、気づきや学びが多く当法人の活動にも強く共感してくださり、「次回もぜひ参加したい」との言葉を頂いた。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・まん延防止措置が出ている間、団地集会所内での交流会は中止とし、電話対応を中心に現状把握等を行った。

・福島県における感染症対策に従い、手洗い/消毒/検温/名簿管理/密を避ける等を徹底し、屋外での交流会の開催を行った。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） ・Facebook/Instagram等で復興公営住宅の様子を発信 ・3月17日付のいわき民報新聞に【あの日から11年目の福島の今】の様子が掲載された。 IMG_8090.pdf
2.広報制作物等 ・【あの日から11年目の福島の今】の案内チラシを作成。復興公営住宅の自治会に案内すると共に掲示板に掲示した。 3.13 あの日から11年目の福島の今.pdf （勿来酒井/下神白/中原/宮沢/関船/四ツ倉/北好間/家の前） ・復興イベント時のプログラム等に、休眠預金活用事業のシンボルマークを記載 IMG_8091.pdf
3.報告書等
4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 復興イベント時に、休眠預金活用事業であることを伝えると共に、より多くの方に復興公営住宅の現状をお伝えすべく団地自治会より復興公営住宅の今をお話していただいた。

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用

3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料 活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



手芸サークル見学(中原団地)

毎月2回、手芸が得意な住民が講師となり、ビーズアクセサリー等を作成。この日は見学に伺い住民さんとお話をしました。ビーズ絵画が得意な方が来られていたので、今まで作った作品をたくさん見せていただきました。集会所に出て来ない方でも多様な趣味をお持ちの方がいるので、今後その方たちの作品の展示会などができたらと思います。



クリスマス会参加(宮沢団地)

まん延防止措置が解除され、久しぶりに住民同士が顔を合わす機会に、当法人も参加させていただきました。先の見えない不安を抱える中、感染症対策はしっかり行いながらも、集会所が開けている環境をつくることは、心身の健康支援に必須だと改めて感じる機会となりました。



「あの日から 11 年目のふくしまの今」開催

天空の里山という無農薬の畑にて、震災を風化させないイベントを開催。団地住民による歌唱発表や、復興公営住宅の現状のお話、復興に関わる活動をされている方のフラダンスやバンド演奏等、幅広い支援の輪が重なり合い、団地といわき市民を繋ぐ交流機会となった。

また、他団体と関わりも大切であることから、災害支援ネットワークや NPO 法人ザ・ピープル等の市内の団体と連携をはかったの開催となった。



宮沢団地住民と双葉郡住民(311 イベント時)

団地住民とその友人達が屋外イベントに来てくださいました。「久しぶりに外に出て、素敵な音楽や人々に触れて癒やされた」と皆口々に仰っていました。